

[02センター追試 センター追試]

解説

(1) 曲線 $C_1: y = mx^2 + nx$ が、点 $A(1, 0)$ を通るから $m + n = 0$ …… ①

また、 $y' = 2mx + n$

原点 O における接線の傾きが 1 であるから $n = 1$ …… ②

①, ② から $m = -1, n = 1$

曲線 $C_2: y = px^3 + qx^2 + rx$ が、点 $A(1, 0)$ を通るから $p + q + r = 0$ …… ③

点 $B(-1, 0)$ を通るから $-p + q - r = 0$ …… ④

また、 $y' = 3px^2 + 2qx + r$

原点 O における接線の傾きが a であるから $r = a$ …… ⑤

③, ④, ⑤ から $p = -a, q = 0, r = a$

(2) (1) から $C_1: y = -x^2 + x, C_2: y = -ax^3 + ax$

交点の x 座標は $-x^2 + x = -ax^3 + ax$ の解に対応する.

変形すると $ax^3 - x^2 - (a-1)x = 0$ ゆえに $x(x-1)(ax+a-1) = 0$

よって $x = 0, 1, \frac{1}{a}$

したがって、 $0 < \frac{1}{a} - 1 < 1$ であればよい. ゆえに $\frac{1}{2} < a < 1$

(3) $y = -x^2 + x$ を微分すると $y' = -2x + 1$

よって、 C_1 の $A(1, 0)$ における接線 l_1 の方程式は $y = -x + 1$

また、 C_2 の O における接線 l_2 の方程式は $y = ax$

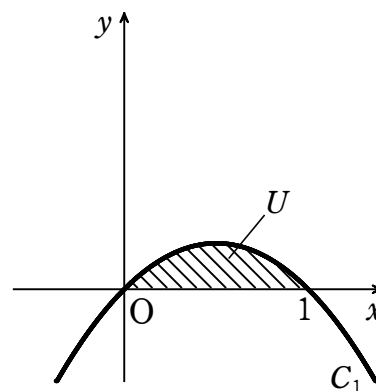
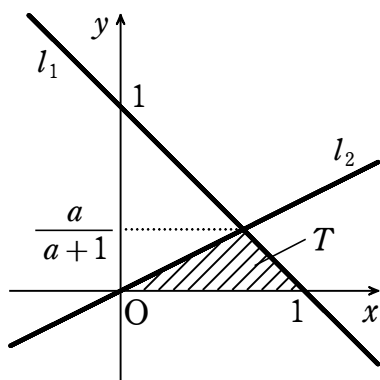
l_1 と l_2 の交点の y 座標は $y = a(-y + 1)$ から $y = \frac{a}{a+1}$

ゆえに、 x 軸と l_1, l_2 で囲まれた部分の面積 T は

$$T = \frac{1}{2} \times 1 \times \frac{a}{a+1} = \frac{a}{2(a+1)}$$

また、 x 軸と C_1 で囲まれた部分の面積 U は

$$U = \int_0^1 (-x^2 + x) dx = -\int_0^1 x(x-1) dx = \frac{1}{6}$$



$0 < a < 1$ であるから l_2 は $0 < x < 1$ で C_1 と交わる.

右の図の縦線の部分の面積を S とすると

$$S_1 = S_2 \iff S_1 + S = S_2 + S \iff U = T$$

ゆえに, $S_1 = S_2$ となるのは $U = T$ のときである.

$$\text{よって } \frac{1}{6} = \frac{a}{2(a+1)}$$

$$\text{これを解くと } a = \frac{1}{2}$$

